

# わくわく東大戸 Show!

たくさんの「わくわく」を通して、一人一人の自信を育てる!

学校教育目標

一日一日を大切に  
何事も一生懸命  
取り組む児童の育成

発行責任者  
校長 根本 滋之



## やってみよう! ...につながる **がんばってるね!**

いよいよ、校内マラソン大会が今週末に迫ってきました。子どもたちは、大会を目指して、10月から一生懸命マラソン練習に取り組んでいます。

マラソンは苦しい。これは、走るのが得意な子にとっても、苦手な子にとっても同じです。だから、その苦しさと対峙して懸命に走る子どもたちに、私たち職員は、「がんばってるね!」「いいぞ、その調子!」という声援を送ります。今がんばっているその姿が輝いているからです。



今年度、本校では、「子どもたち一人一人の自信を育てたい」というテーマをもって教育活動に取り組んでいます。言うのは簡単ですが、これは、とても難しい。なぜなら、「自信」とは、その人の心から湧いてくるものであって、他者が与えたり植え付けたりするものではないからです。では、どうするのか? 本校では、「認める」「勇気づける」ことを大切にしています。

- ★「がんばっているね。」「いいぞ!」と努力している過程を認め、励まします。
- ★「あなたのおかげで~になった。」と貢献や協力を一緒に喜びます。
- ★「ここまで伸びたね。」「~はとてもいいよ。」と成長した成果を認め、勇気づけます。
- ★「あなたの~はとても上手になったよ。」と他者との比較ではなく、個人の成長を認めます。
- ★「~は残念だったね。次はどうすればいいだろう。」と失敗を受け入れます。



マラソンでは、速いこと、順位がいいことをほめられて自信がつく場合も多いでしょう。でも、これだけではありません。マラソンが苦手でも、遅くても、がんばっている姿を認め、勇気づけられれば、さらに「やってみよう!」という気持ちになる。その中で自らの成長や可能性を自覚できれば、自信がもてます。がんばる心地よさや楽しさを感じたり、がんばっている自分を好きになったりして、わくわく感を膨らませられます。だから、本校では、「やってみよう!」につながる「がんばってるね!」という共感的な「勇気づけ」を、学校生活全体を通して大切にしています。



さあ、マラソン大会は目の前。子どもたちの輝く姿を見るのがとても楽しみです。ご家庭と学校が一緒になって「よくがんばってるね!」と、子どもたちの努力を認め、勇気づけていきましょう!!

# 入賞おめでとう!

～香取郡市書写展覧会～

【最優秀賞】

【特選】

【金賞】

【銀賞】

～健歯賞（6年対象）～  
【入賞者】



～郡市陸上大会～  
【男子走り高跳び入賞】  
第6位 記録 125cm

## 11月のわくわく日記

11/2

鼓笛引き継ぎ式  
令和3年度の鼓笛の新編制が正式決定。来年5月の運動会に向けて、今月からがんばって練習していきます。



11/4 郡市陸上大会

18名の選手が参加。「力を出しきる」ことをめあてに競技しました。気持ちのよいあいさつをしたり、マナーをしっかりと守ったりする姿からも、東大戸小代表の自覚を感じました。



11/12 高学年校外学習

小見川少年自然の家で、5年生は、ファンタジーウイングやキャンドル作り、ポッチャを体験しました。6年生も、ポッチャを体験、さらに、防災クイズラリー、切り絵を楽しみました。両学年とも、友達同士の協力がキラリと光っていました。



11/20 1年生「あきパーティー」  
2年生を招待して、けん玉、やしよべえ、どうぶつ、どんぐりぐるぐる、どんぐりごまのコーナーで楽しませてくれました。



11/26 避難訓練

火事想定での訓練でした。おかしもの約束を守って安全に避難。実際に防火扉をくぐる練習もしました。

携帯電話からもご覧になれます。  
携帯のバーコードリーダー機能で読み取ってご覧ください。



ホームページもご覧ください～!!